

ただいまご紹介いただきましたカゴメ株式会社の住友正弘です。本日はこのような席で私どものイタリア投資に関するご説明をさせていただく機会を持たせていただき、大変うれしく思っております。ヴェジタリアの概要、それから工場のユニークな特徴については、グリッロ社長のお話とご覧いただいたビデオで概ねご理解いただけたのではないかと考えておりますので、私からはカゴメ株式会社のご紹介と、イタリアへの直接投資のもくろみ、あるいは意義について若干ご説明をさせていただければと思っております。

早速ですが、まず私どもカゴメ株式会社についてです。カゴメは1899年に創業した会社で、今年で108年目を迎える食品の製造・販売を行っている会社です。グループ全体の従業員数が約2000名、2006年度の連結の売上高が日本円で1870億円、東京および名古屋の方の証券取引所で上場しております。

カゴメは日本におけるトマト加工品の製造・販売についてのパイオニアですが、近年は展開している事業の価値領域をトマトから野菜へ、さらに乳酸菌へと広げていっております、「カゴメ」というブランドで野菜飲料、調味料、業務用の食品、「ラブレ」という乳酸菌飲料等々の商品を、国内の八つの自社工場から全国へ供給しております。日本以外にも、イタリアをはじめ、米国、中国、ポルトガル等へ工場を持って事業展開しています。

カゴメは、おかげさまで日本でもよく知られたブランドになってまいりました。これはお客様にとっての信頼あるいは安心のシンボルとして、カゴメが提供するすべての商品の価値をお約束するものです。そのお約束を端著に表現したのが「自然を、おいしく、楽しく」というカゴメのブランドステートメントです。イタリアの、そして世界の自然の恵みがもたらす価値を、カゴメが思う最善の方法でおいしく楽しく磨き上げて、ほかの企業にはない、カゴメらしい価値のある商品作りを通じて、お客様の健康や豊かな暮らしに貢献していくことを、カゴメの大事な考え方としております。

次に、今回のカゴメのイタリアへの直接投資とその意義について申し上げます。カゴメは実は、1980年にイタリアから初めてトマト缶詰の輸入をスタートさせて以来、さまざまなイタリア食材の輸入・販売を積極的に行ってきました。日本のお客様に対して、本格的なイタリアの食文化、トマトの持つ栄養価値、さらに地中海食材の持つ栄養価値を継続的に紹介してきたと自負しております。そしていよいよ1998年からは、さらに付加価値の高い食材として南イタリアカラブリア州からの冷凍加工野菜の輸入・販売をスタートさせ、業務様のフードサービスのお客様を中心に、日本全国でその豊かな魅力を伝えてまいっております。

ご存じのように、日本では既に1万店を超えるイタリアンレストランが営業しておりまして、もう既にイタリア料理自体が日本人の日常の食生活に深く浸透したという感がありまして、私自身、私の家族もですが、おいしいイタリアンレストランには目がなくて、週末になればイタリアンレストランに行って家族で食事をするのを非常に楽しみにしています。しかし、レストランのみならず、スーパーマーケットや、あるいは最近ではコンビニエンスストアの惣菜など、イタリア料理に関する市場というものはますますそ野が広がってきておりまして、私ども食品企業としては、ますますこの傾向は拡大すると確信しています。

このようなビジネスチャンスが豊富にある状況下で、多様化する日本の消費者のニーズへの対応をどう強くしていくのか。さらには提供する商品の安心と安全を私ども自身が確実に担える体制を整えるということでグリッロ社長からありましたように、2003年になります。イタリアへの直接投資を決定し、それを実行したということです。この投資によって設立した合弁会社ヴェジタリアでは、手前どもが持つ生産技術や品質管理の技術と、イタリアのパートナーを持って初めてアクセスが可能になるイタリア野菜の調達力、あるいはさまざまな現地とのネットワークを組み合わせ、日本のお客様のニーズに合致する、高品質で安全な冷凍食品を生産するということをもくろんでおります。

多様なイタリア野菜へのアクセス、野菜の生産地での商品開発、あるいは先ほどもビデオでありましたが、農家とのネットワークを活用した確実なトレーサビリティを通じて、ほかにはまねのできない差別性の高い事業基盤を持つことができたとカゴメは確信しております。今後このヴェジタリアをカラブリアの地元へ愛され

るイタリア・日本の合弁会社として成功させ、日本の消費者へ大いなるイタリアの大地の恵みをお渡しする橋渡しの一助になればと考えております。

最後になりましたが、一言だけ御礼を申し上げたいと思います。今回の南イタリアへの投資につきましては、プロジェクトの検討段階から会社の設立補助金の申請・需給などの諸々のプロセス、あるいは日本から派遣する人材のいろいろな面で、イタリア政府、あるいはズヴィルツポイタリアをはじめとする関連機関の皆さまに、本当に大変に心強いサポートを頂きました。このことについてこの場をお借りして厚く御礼を申し上げたいと思います。信頼できるイタリアのパートナーとの間に共同事業を実行できるようになったご縁と、お世話になった関係者の皆さまからのご支援に感謝して、またその期待に応えられるように、ヴェジタリア社の成功に向け、カゴメとして全力を傾注してまいりたいと考えております。

本日は誠にありがとうございました。